

(様式1)

令和7年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 023	提案機関名	かながわ西湘農業協同組合		
要望問題名 ニンニクの乾燥度合いについて				
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 当JAではニンニクの乾燥機を導入し、乾燥ニンニクとして出荷をしているが、次年産の自家種にする場合も同じく乾燥機を使用しています。 自家種を使用した場合、発芽率の低下や生育不良が多く発生する傾向にあるので、乾燥度合いもしくは乾燥後の保管方法に原因があるのではないかと考えています。 つきましては、球の水分量（乾燥度合い）と発芽率との関係性を調査お願いしたい。				
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内			
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター			
備 考				

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部 足柄地区事務所
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 種球の管理方法について、農研機構の「ニンニク周年供給のための収穫後処理マニュアル」等の報告がありますので、足柄地区事務所から情報提供するとともに、必要な指導を行います。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考 ・「ニンニクリン茎の自発休眠、他発休眠および呼吸速度に及ぼす収穫後温度の影響」山崎ら、2010、東北農研報 ・「ニンニクの萌芽・発根を抑制する38℃加温処理の期間と適期」岩瀬、2003、東北農業研究成果情報 ・「収量、品質に係る諸要因（ニンニク）」八鍬、1973、農業技術体系 ・「ニンニク周年供給のための収穫後処理マニュアル」東北農業研究センター、2013			